

1. 2021年12月期 第2四半期業績概要

2021年8月10日
日東精工株式会社
(証券コード 東証1部:5957)

2021年12月期 第2四半期（連結）業績ハイライト



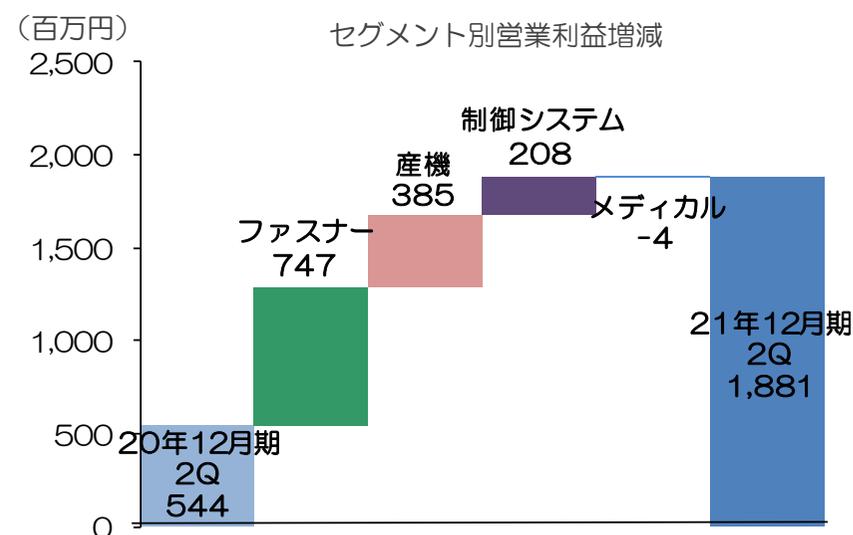
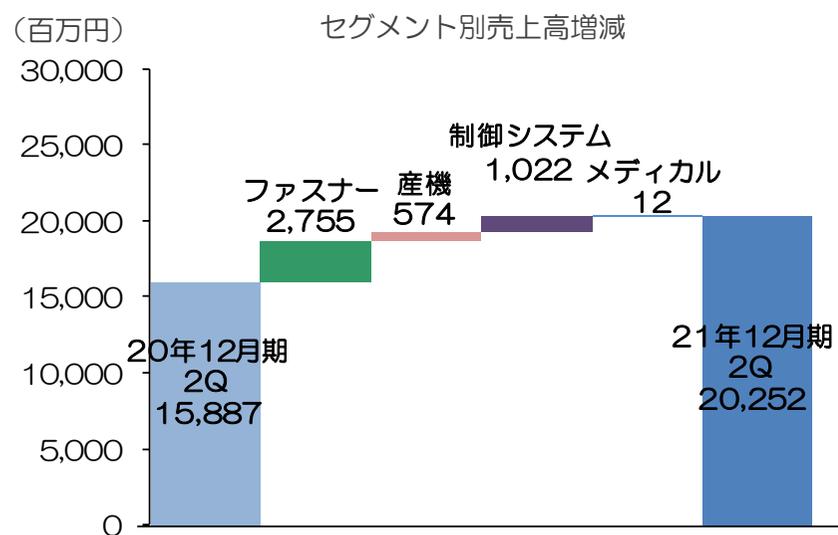
単位：百万円／％	20年12月期 第2四半期		21年12月期 第2四半期		前期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	15,887	100.0	20,252	100.0	4,365	27.5
売上総利益	3,655	23.0	5,275	26.0	1,619	44.3
販売管理費	3,111	19.6	3,393	16.8	282	9.1
営業利益	544	3.4	1,881	9.3	1,337	245.4
経常利益	603	3.8	2,010	9.9	1,406	233.0
税金等調整前四半期純利益	601	3.8	2,131	10.5	1,529	254.2
親会社株主に帰属する四半期純利益	329	2.1	1,231	6.1	902	273.6
一株当たり当期純利益（円）	8.96		33.41			

- 東南アジアの子会社において新型コロナウイルスが再拡大の影響を受けるも、自動車産業を中心にねじの受注が回復し、昨年比27.5%の増収。
- 巣ごもり（外出制限）需要により、ゲーム機やパソコン向けの精密ねじが好調を継続。
- 産機事業は、EV、CASEに関わる設備投資は継続され、電機・電子、エネルギー関連も売上に貢献。

セグメント別売上高・営業利益（連結）



単位：百万円/%		20年12月期 第2四半期	21年12月期 第2四半期	前期比	
				増減額	増減率
ファスナー事業	売上高	11,229	13,985	2,755	24.5
	営業利益	147	894	747	508.5
	利益率	1.3	6.3		
産機事業	売上高	3,116	3,690	574	18.4
	営業利益	558	944	385	69.2
	利益率	17.9	25.8		
制御事業	売上高	1,530	2,552	1,022	66.8
	営業利益	△160	47	208	—
	利益率	△10.5	1.9		
メディカル事業	売上高	10	23	12	116.4
	営業利益	0	△4	△4	—
	利益率	0.9	△19.9		



単位：百万円/%	20年 第2四半期	21年 第2四半期	前期比	
	金額	金額	金額	増減率
売上高	11,229	13,985	2,755	24.5
自動車	3,994	5,366	1,372	34.4
電機・電子部品	2,032	2,611	579	28.5
住宅・建築	1,993	2,278	285	14.3
雑貨	1,018	1,198	179	17.7
IT・情報機器	750	653	△97	△12.9
精密機器	336	515	179	53.3
医療	103	143	40	38.8
エネルギー関連	129	86	△43	△33.3
その他	874	1,135	261	29.9
営業利益	147	894	747	508.5

- コロナ禍による生産活動の一時停止から復調し、自動車（電装機器等）用セルフタップねじ・精密ねじが好調。
- 移動手段など新生活様式に関連するねじ・部品が好調。
- 海外はコロナ感染拡大、半導体不足の影響により生産に影響。

◆自動車

- 生産台数の増加により、車載用電池やECU関連製品の販売が堅調。

◆電機・電子部品

- テレワークや巣ごもり需要が継続し、パソコンなど家電の需要増が寄与。

◆住宅・建築

- 住宅着工が回復をみせ、住宅内装関連部品や部材建物用ねじの拡販により、貢献。

◆雑貨

- 巣ごもりが継続し、各種ゲーム機が継続して好調を維持。

◆IT・情報機器

- 複写機など海外を中心に販売するも、アジアを中心にコロナ感染拡大による制限令などにより伸長せず。

単位：百万円／％	20年 第2四半期	21年 第2四半期	前期比	
	金額	金額	金額	増減率
売上高	3,116	3,690	574	18.4
自動車	2,088	1,922	△165	△8.0
電機・電子部品	252	630	378	150.0
エネルギー関連	72	511	439	609.7
IT・情報機器	34	85	51	150.0
住宅・建築	87	55	△32	△36.8
医療	37	23	△15	△37.8
遊技機	57	23	△34	△59.6
精密機器	9	14	5	55.6
その他	480	427	△53	△11.0
営業利益	558	944	385	69.2

- 自動車関連は昨年を下回った一方、電機・電子、エネルギー関連が牽引。
- 海外は中国、タイは回復し、一定の売上に貢献した。

◆自動車

- コロナ禍において、EVやCASEに関わる設備投資は継続されるも、米国販売の低調が継続。

◆電機・電子部品

- 巣ごもり需要の影響により、家電メーカーの受注が例年に比べて好調。

◆エネルギー関連

- ガス関連装置の設備導入により、売上に大きく貢献。

◆IT・情報機器

- 回復基調にはあるものの感染防止対策の影響を受け、新機種向けが低調。

◆住宅・建築

- コロナ禍による住宅着工減が回復をみせるも、大きく伸長せず一昨年同等まで回復。

単位：百万円／％	20年 第2四半期	21年 第2四半期	前期比	
	金額	金額	金額	増減率
売上高	1,530	2,552	1,022	66.8
化学・薬品	407	613	206	50.6
エネルギー関連	161	562	401	249.1
住宅・建築	180	265	85	47.2
自動車	60	150	90	150.0
電機・電子部品	44	145	101	229.5
造船	111	121	10	9.0
医療	49	76	27	55.1
食品	48	52	4	8.3
その他	470	568	97	20.9
営業利益	△160	47	208	—

・日東精工アナリテックの子会社化により、セグメント売上が大幅に増加。また、高付加価値製品である地盤調査機ならびに部品検査装置も回復を見せた。

◆化学・薬品

- ・日東精工アナリテックの子会社化により元素計、水分計の売上分が貢献。

◆エネルギー関連

- ・日東精工アナリテックの石油業界向け分析器の売上分が貢献。

◆住宅・建築

- ・コロナ禍による住宅着工減が回復をみせ、新製品「ジオカルテⅣ」の発売による買い替え需要が高まり増加。

◆自動車

- ・設備投資が昨秋以降回復し始め、部品検査装置「ミストル」の販売が増加。

◆電機・電子部品

- ・日東精工アナリテックの電機・電子に用いるイオンクロマト用前処理装置や抵抗率計の売上分が貢献。

◆造船

- ・環境に配慮した新型造船の導入が進み流量計が受注増。

単位：百万円／％	20年 第2四半期	21年 第2四半期	前期比	
	金額	金額	金額	増減率
売上高	10	23	12	116.4
医療	10	23	12	116.4
その他	—	—	—	—
営業利益	0	△4	△4	—

◆医療

- コロナウイルスにより医療機関への訪問自粛など、事業環境は厳しく受注に影響。
- 昨年7月に発売した医療用照明器は、専門の展示会に出展し、取得した情報を含めてオプションや新モデルを開発中。
- 今年2月に医療用生体内溶解性高純度マグネシウム材料の開発を発表、骨折治療用のインプラントとして実用化に向け進行中。

2021年12月期 第2四半期 (連結) 貸借対照表



単位：百万円／％	20年12月期		21年12月期 第2四半期		前期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
資産の部						
流動資産合計	27,704	59.9	31,890	63.9	4,186	15.1
現金及び預金	9,287	20.1	10,836	21.7	1,549	16.7
受取手形・電子記録債権/売掛金	10,543	22.8	12,068	24.2	1,525	14.5
棚卸資産	6,916	15.0	7,519	15.1	602	8.7
固定資産合計	18,517	40.1	18,022	36.1	△495	△2.7
有形固定資産	12,933	28.0	12,930	25.9	△2	△0.0
無形固定資産	1,421	3.1	1,366	2.7	△55	△3.9
投資その他の資産	4,162	9.0	3,725	7.5	△437	△10.5
資産合計	46,222	100.0	49,912	100.0	3,690	8.0
負債の部						
流動負債合計	11,618	25.1	13,711	27.5	2,092	18.0
支払手形・電子記録債務/買掛金	6,674	14.4	8,122	16.3	1,448	21.7
短期借入金（一年以内返済の 長期借入・社債含む）	2,847	6.2	2,676	5.4	△170	△6.0
固定負債合計	4,745	10.3	4,658	9.3	△87	△1.8
負債合計	16,364	35.4	18,369	36.8	2,005	12.3
純資産の部						
資本金	3,522	7.6	3,522	7.1	—	—
資本・利益剰余金	25,202	54.5	26,304	52.7	1,101	4.4
自己株式	△1,279	△2.8	△1,253	△2.5	26	2.1
純資産合計	29,858	64.6	31,543	63.2	1,685	5.6

2021年12月期（連結）キャッシュフロー計算書



単位：百万円	20年12月期 第2四半期	21年12月期 第2四半期		
	金額	金額	増減額	増減率
営業活動によるCF ※①	2,424	1,893	△531	△21.9
投資活動によるCF ※②	△2,862	△337	2,524	—
（フリーCF） ※①+②	△437	1,555	1,993	—
財務活動によるCF	△524	△164	359	—
現金及び現金同等物の増減額	△1,007	1,508	2,516	—
現金及び現金同等物の期首残高	9,012	8,299	△712	△7.9
現金及び現金同等物の期末残高	8,004	9,808	1,803	22.5

2. 2021年12月期 第116期業績予想

本資料に掲載されている業績見通し等に関する将来の予測は、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によりこの見通しと異なる場合があります。

2021年12月期（連結）業績予想



単位：百万円/%	20年12月期		21年12月期（予想）		前期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	32,904	100.0	41,000	100.0	8,095	24.6
営業利益	1,303	4.0	3,200	7.8	1,896	145.4
経常利益	1,418	4.3	3,300	8.0	1,881	132.7
親会社株主に帰属する 当期純利益	764	2.3	2,000	4.9	1,235	161.5
一株当たり当期純利益（円）	20.78		54.15			

- 自動車向けの一般ねじやコロナ禍における外出自粛を背景にゲーム機やパソコン向けの精密ねじが好調で、ファスナー事業の売上伸張を見込む。
- コロナ禍で延期されていた計画が再開となり、自動車業界やエネルギー関連の設備投資も回復し、産機事業も増収の見込み。
- 昨年4月に子会社化した日東精工アナリティックが制御事業の売上拡大に貢献。
- 利益面でも、売上高の増加に加え、グループ挙げての経費削減施策の効果や為替の影響等により、大幅な増益の見込み。